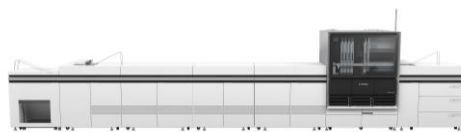


キヤノングループの商業印刷プリンター2 製品が
国際的なデザイン賞「レッドドット・デザイン賞」を受賞

キヤノングループの商業印刷向けインクジェットデジタルプレス「varioPRINT iX1700^{※1}」と、大判ハイブリッドプリンター「Colorado XL シリーズ^{※2}」が、Red Dot Award AG（スイス）が主催する「レッドドット・デザイン賞 プロダクトデザイン 2026」（Red Dot Design Award：Product Design 2026）を受賞しました。



reddot winner 2026



varioPRINT iX1700



Colorado XL シリーズ

* 写真は Colorado XL7 roll-to-roll

「varioPRINT iX1700」は、A4 サイズで毎分 170 枚、B3 サイズで毎分 73 枚の高速印刷が可能なデジタル印刷機です。インク循環機構搭載の高精細プリントヘッドと高濃度ラテックスインクの採用により、高い稼働率を達成しながら、オフセット印刷に迫る印刷品位を実現します。本体は、印刷現場の生産性向上を支えるデザインを採用しています。各ユニットに機器状態を示すナビゲーション LED を配置することで、消耗品交換など必要な作業をコントローラーの UI 画面を見なくても直感的に把握でき、スムーズな動線で作業をすることが可能です。また、天面は、インクや印刷物の一時置き、簡易的な作業スペースとして活用できるよう、凹凸を排したフラットな構成としました。さらに、プリンタエンジン部には大型透明窓を採用し、内部の動作をリアルタイムで確認できるようにすることで、稼働状況をつかみやすくしています。

「Colorado XL シリーズ」は、ロール to ロール対応の「Colorado XL7 roll-to-roll」と、リジッド（硬質）メディアにも対応する「Colorado XL7 hybrid」の 2 機種を展開する大判 UV インクジェットプリンターです。バナーやフィルムに加え、発泡ボード、アクリルなど多様なメディアに対応し、幅広い現場のニーズに応えます。本体は、オペレーターの操作の流れを意識して構造化されています。例えば、入力側・出力側の双方から操作可能な可動式タッチスクリーンにより、柔軟なオペレーションを実現しています。また、メディアの位置合わせをサポートする LED ガイダンスや、印刷プロセスを可視化する透明トップカバーを備えるなど、細部まで生産性向上を追求しています。

「varioPRINT iX1700」と「Colorado XL シリーズ」は、ともに国際的に権威のある「iF デザインアワード」（ドイツ）も受賞するなど、デザイン面で高い評価を得ています。キヤノンは、これらの受賞を励みとして、今後も性能とデザインを高度に融合させた製品づくりを続けていきます。

〈「レッドドット・デザイン賞」とは〉

レッドドット・デザイン賞は、1955 年に創設された世界最大級のデザイン賞です。プロダクトデザイン、ブランド & コミュニケーションデザイン、デザインコンセプトの 3 部門において、卓越したデザインが選出されます。プロダクトデザイン部門において、今年は 61 の国と地域から応募があり、国際的に活躍するデザインの専門家により、革新性や機能性、品質、人間工学など 9 つの基準で審査されました。

※1 キヤノン株式会社の製品。

※2 キヤノンプロダクションプリンティング社の製品。